

第1回京都腎臓・高血圧談話会 学術講演会

テーマ“改めて腎機能評価方法と解釈を
考える”

2016年10月22日(土)

ホテルオークラ京都

共催：京都腎臓高血圧談話会、中外製薬株式会社

第1回京都腎臓・高血圧談話会学術講演会

テーマ：「改めて腎機能評価方法と解釈を考える」

日時：2016年10月22日(土) 17:30～20:00

場所：ホテルオークラ 4階「暁雲」

〒604-8558 京都府京都市中京区河原町御池

Tel. 075-211-5111 (代表)

【情報提供】17:30～

「腎性貧血治療薬ミルセラ注について」 中外製薬(株)

【講演会開催にあたり】17:40～

京都腎臓・高血圧談話会事務局 八田 告 先生

【特別講演】17:50～18:50

座長： 京都工場保健会 所長
京都腎臓・高血圧談話会 会長 武田 和夫 先生

「CKD診療におけるeGFRの見方とピットフォール」

演者：中山寺いまいクリニック 院長 今井 圓裕 先生

※日医生涯教育講座 カリキュラムコード 74:高血圧症, 24:浮腫 各0.5 単位

【聴衆参加型ディスカッション】19:00～20:00

司会：家原典之先生(京都市立病院 腎臓内科部長)

八田 告先生(八田内科医院 院長)

症例から学ぶ各職種における問題点

「腎機能評価と保健指導」保健師(京都工場保健会 梶岡恵子先生)

「腎機能評価と栄養指導」栄養士(京都桂病院 川手由香先生)

「腎機能評価と薬剤指導」薬剤師(西陣病院 三宅健文先生)

アンサーパッドを使用して聴講者にもご参加頂きます！

※日医生涯教育講座 カリキュラムコード 10:チーム医療, 11:予防と保健 各0.5 単位

【Closing Remarks】神田千秋先生(京都腎臓・高血圧談話会副会長)

講演会終了後に情報交換会をご用意しております。

当日参加費：当日500円

京都府栄養士会生涯教育単位(1単位)発行

尚、御手数ですが10月14日(金)までに裏面のFAX返信用紙にて出欠の御返信を頂けましたら幸いです。

共催：京都・腎臓高血圧談話会、中外製薬株式会社

後援：京都府医師会、京都透析医会、京都府栄養士会



談話会の役割

- 1) 腎臓病・高血圧症への多職種による早期介入
- 2) 各職種間、多職種間の勉強会の提供
- 3) CKD地域連携の普及
- 4) その他

事務局 八田 告 談話会開催にあたり

各種案内について

- 勉強会案内は、ほぼすべてMLで送ります。
- 必ず、PCメールを記入してください(深夜、早朝にメールが届くことがあります)
- MLの取り扱い、マナーを守って宜しくお願いします。添付書類ありますが、ご安心ください。
- 予算が限られており、手弁当な会です。各職種別の勉強会は病院会議室など無料で使用できるところなどを利用します。
- ご意見があれば、事務局までお問い合わせください。(tsuguhatta@hotmail.com)



京都腎臓・高血圧談話会 世話人

武田和夫

たけだ かずお
京都腎臓・高血圧談話会 会長



京都工場保健会 診療所長
京都腎臓病総合対策協議会 理事
腎臓学会専門医、高血圧学会専門医
趣味：ゴルフ、音楽鑑賞

メッセージ

この談話会を発足させることができ、医師だけでなく、薬剤師、保健師、栄養士と多職種で構成される会はめずらしく腎臓病をはじめ各種疾患に向き合うのに最も適していると考えています。いろんな問題に、各面から意見を頂きお互いに交流を深めて疾患に向かえばきっと新たな疾患に対する対処法や治療がでてくるように思えます。今後、皆様とともに腎臓病、高血圧症に向かっていけたらと思っています。

神田千秋

かんだ ちあき
京都腎臓・高血圧談話会 副会長



京都腎臓病総合対策推進協議会 会長
京都民医連中央病院 救急総合内科 科長
近畿高等看護専門学校 校長
趣味：剣道。四段を目指して稽古中です。

メッセージ

この談話会は医学会ではなく、多職種が集まっているところに一番の特長があります。コラボから生まれる、予想もできない新しい活力が京都の医療界に旋風を起こす、そんな夢を持っています。

家原典之

いえはら のりゆき
京都腎臓・高血圧談話会 副会長



京都市立病院 腎臓内科 部長
京都大学医学部腎臓内科 臨床教授
京都透析医学会 会長
京都腎臓病総合対策推進協議会 理事
腎臓学会専門医、透析医学会専門医
趣味：旅行、園芸(多肉植物)

メッセージ

この会は ALL KYOTO で、かつ多職種で構成されてユニークな会です。京都の英知を集め、多方面からのアプローチで腎臓病・高血圧症対策に取り組んで参ります。参加される方々の知識や技術の向上はもちろんなこと、市民への啓発活動に活動を広げていくことが大切です。共感して参加される人数が増えて、大きなうねりになることを期待しています。天の時地の利人の和を得て京都から様々な情報が発信できることを確信しています。

吉村了勇

よしむら のりお



京都府公立大学法人 理事
京都府立医科大学 副学長
京都府立医科大学附属病院 病院長
京都府立医科大学大学院 移植・再生外科学 教授
趣味：剣道

メッセージ

腎移植後の高血圧症に対して、患者さん個々に応じた生活習慣の改善の徹底や各治療、免疫抑制療法工夫を検討する必要があると感じております。様々な職種の方との関わりの中で、腎臓移植外科医の立場として諸問題にアプローチしていきたいと思っています。

西田眞佐志

にしだ まさし



京都府立医科大学 小児循環器・腎臓科 准教授
京都腎臓病総合対策推進協議会 理事
腎臓学会専門医、小児科学会専門医
趣味：音楽鑑賞、食歩歩き

メッセージ

成人の腎臓病や高血圧症に対する対策は、小児期からの管理が重要だと考えています。この会を通じて小児期からの CKD や高血圧症の予防や対策について考えるきっかけになればと思っています。

小山正樹

こやま まさき



綾部市立病院 泌尿器科 部長
泌尿器科学会専門医、腎臓学会専門医、透析医学会専門医
趣味：スノーボード、食べ歩き、ミュージックフェス観戦

メッセージ

腎臓病、高血圧を治療していく上で、腎臓に関わる医療スタッフ一同で、患者さんと一緒に取り組んでいく必要があると考えています。より良き医療のために、この会において、多職種間での交流を図り、様々な問題に取り組んでいけたらと考えております。

川手由香

かわて ゆか



社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院 栄養科
京都腎臓病総合対策推進協議会理事
京都透析食研究会 会長
趣味：スノーボード、ゴルフ、カラオケ

メッセージ

栄養部門を担当しています。3人に1人が高血圧症、8人に1人が腎臓病の昨今、多職種で協力・連携し、疾患の発症と進展予防に、栄養の観点から寄与できればと考えています。明日からの業務に役立つ内容はもちろん、日ごろのちょっとした疑問や問題点の解決、情報発信等も行いたいです。皆様のお声でこの会は成長していきます。どんどん忌憚なきご意見をお願いします。

三宅健文

みやけ たけふみ



社会福祉法人 京都社会事業財団 西陣病院 薬剤部 部長
日本CKDチーム医療研究会 幹事（薬剤師部会）
京都腎臓病総合対策推進協議会 理事
京滋CKD研究会 代表世話人
趣味：サッカー（3級審判員） 公認スポーツファーマシスト

メッセージ

薬剤師視点だけでなく、患者や医療者視点で情報を収集し、腎臓・高血圧治療に適切な薬物治療を提供したいと考えています。おくすりに関するよろず相談を受付中です。

新世話人

梶岡恵子

かじおか けいこ



一般財団法人 京都工場保健会 保健指導課 保健師
趣味：ジム、友人と食べ歩き

メッセージ

腎臓・高血圧・糖尿病…を指摘されても、自覚症状が少ないので、お仕事や日常生活に追われ、受診は後回しになりやすいです。健康診断で見つかる小さなサインを見逃さないで保健指導ができるように、日ごろ現場で困っていることを先生方と共有し、勉強させて頂くチャンスと思って参加しています。

八田 告

はった つぐる
京都腎臓・高血圧談話会 事務局



医療法人 八田内科医院 院長
近江八幡市立総合医療センター 腎臓センター 顧問
京都府立医科大学 臨床准教授
京都腎臓病総合対策推進協議会 理事
腎臓学会専門医、高血圧学会専門医
趣味：ダイビング、テニス、釣り

メッセージ

事務局を担当しています。この会が様々な職種の方にとって、腎臓病や高血圧症を取り巻く諸問題を少しでも解決する糸口になるような組織になればと思っています。

ご要望などがあれば、遠慮なく事務局までお寄せください。

和田成雄 わた しげお

和田内科医院院長
京都糖尿病医学会会長
京都糖尿病対策推進事業委員会副委員長
京都糖尿病協会顧問
日本糖尿病学会専門医・指導医
趣味：囲碁



糖尿病性腎症は透析導入原因の第1位であるばかりでなく、心血管疾患の重要なリスクファクターであり、今後は糖尿病医療チームと腎臓病・高血圧医療チームとが協力し合って診療に当たる必要があります。私は、両者の懸け橋としての役割を果たして行きたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

【特別講演】 座長
京都工場保健会 所長
京都腎臓・高血圧談話会 会長
武田 和夫 先生



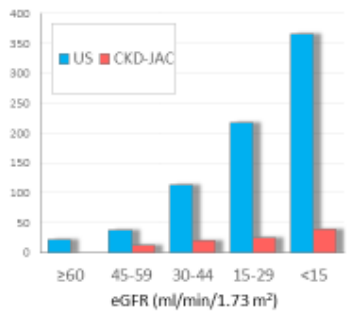
「CKD診療におけるeGFRの見方とピットフォール」
演者：中山寺いまいクリニック 院長 今井 圓裕 先生



特に印象に残ったスライドをピックアップしました

CKD-JACにおける心血管イベント発症頻度は欧米の既報に比し少ない

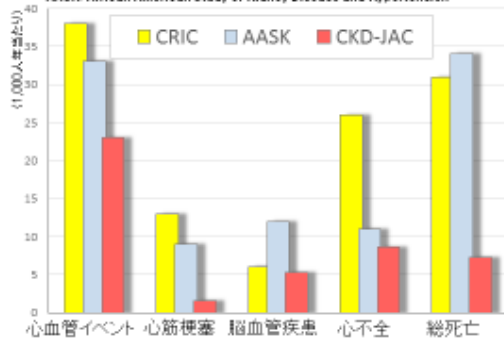
米国一般住民コホートとの比較
CKDステージ別の心血管イベント発症頻度
(1,000人年あたり)



Go AS et al. N Engl J Med; 351:1296-305. 2004

米国慢性腎臓病コホートとの比較

CRIC: Chronic Renal Insufficiency Cohort
AASK: African American Study of Kidney Disease and Hypertension



Denker M et al. Clin J Am Soc Nephrol 10: 2073-83. 2015

Norris K et al. Am J Kidney Dis 48: 739-51. 2006

Tanaka KI 2016



加齢による腎皮質の委縮

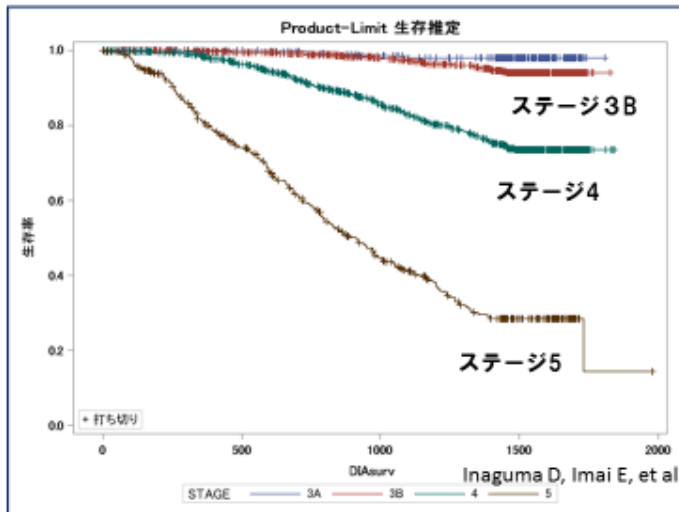


30歳男性

80歳女性

縦断解析:腎機能アウトカム Time to Event解析(透析導入)

透析導入に関して、BL-Cox回帰分析でCKDステージごとに層別して評価した。その結果、CKDステージ4以降で急激に透析導入が増加することが示された。なお、腎移植に関しては6例しか存在しなかったため、結果は割愛する。



Inaguma D, Imai E, et al CEN 2016

本日のまとめ

- 日本の慢性腎臓病(CKD)患者数は1330万人！新たな国民病です。
- 透析患者さんが増えています。原因は高齢化、高血圧、糖尿病などの生活習慣病の増加
- CKDは透析予備軍、心臓病や脳卒中を生じる
- 尿検査、GFRを計算し、腎臓の働きをチェック
- CKDと診断されたらきちんと治療、上手に減塩
- 定期的にかかりつけ医を受診しましょう
- 末期腎不全になれば腎代替療法が必要
- 腎代替療法は腎移植、血液透析、腹膜透析がある
- 正確な情報を得て、主治医・家族と相談して決定

【聴衆参加型ディスカッション】

司会：家原典之先生（京都市立病院 腎臓内科部長）

八田 告先生（八田内科医院 院長）



症例から学ぶ各職種における問題点

「腎機能評価と保健指導」

保健師（京都工場保健会 梶岡恵子先生）

「腎機能評価と栄養指導」

栄養士（京都桂病院 川手由香先生）

「腎機能評価と薬剤指導」

薬剤師（西陣病院 三宅健文先生）



「腎機能評価と保健指導」 保健師(京都工場保健会 梶岡恵子先生)



皆さん、真剣に考えてご回答頂きました。

「保健師のもやもや」という実感のあるフレーズでとても親しみやすいプレゼンでした。きっと日頃の保健指導もこのような優しいフレーズが多いのでしょうね。



「腎機能評価と栄養指導」

栄養士(京都桂病院 川手由香先生)



ネフローゼ症候群における低たんぱく食などについてもガイドラインを交えて教えて頂き、大変勉強になりました。



食欲不振のある患者さんへの「好きなものは何でも食べるよう指導する」という、思い切った食事療法、百戦錬磨の現場主義の川手さんらしい解答でした。

「腎機能評価と薬剤指導」 薬剤師（西陣病院 三宅健文先生）



投薬設計における腎機能評価についての概論に加えて検討症例の詳細なコメントを頂きました。中止、減量すべき薬剤の優先順位について詳しく教えて頂きました。



三宅先生編集、八田
監修の薬剤師必携
のバイブル
お蔭さまで、好評に
つき、増刷決定！



Closing Remarks

神田千秋先生

京都腎臓病総合対策推進協議会会長
京都腎臓・高血圧談話会副会長

多職種が集まる大変貴重な会で、ぜひ皆さんでこの会を盛り上げて行ってくださいと力強いエールを頂きました。





新世話人 和田成雄先生の乾杯ご発声



世話人と演者の今井先生



世話人と腎臓専門医テーブル



適塩シールを囲んで



皆さん楽しくご歓談頂きました



八田内科医院スタッフ



京腎協最強トリオ＋桂病院栄養士さん



八田内科医院スタッフ＋寺尾氏(中外)



笑顔が素敵です！



皆さん、お疲れ様でした！



小山先生の西陣病院＋宮田先生、藤井先生



乾杯！今後ご参加ください！



時代を変える最強コンビ！宮田先生 & 川手さん



中締め 西田先生(小児腎臓専門)

特別講演の今井先生と世話人の先生方

慰労会后、京都ホテル玄関にて



開催後記

2016年10月吉日

第1回京都腎臓・高血圧談話会にご出席頂き、誠にありがとうございました。117名と開催者側の予想を遥かに上回る参加を集め、この領域の関心の高さ、そして未だ現場での葛藤が多い領域だと再認識しました。この談話会を立ち上げた理由については、事務局からお伝えした通りです。京都腎臓・高血圧医会のような専門医組織の役割も兼ねながら、今後も有意義な情報提供をできる場として育てていきたいと思えます。

医師のみでは、この領域の予防、治療にはとても手が回りません。この談話会では、様々な領域の世話人を集め、それぞれの領域において関連多職種の勉強会を開催するなどの活動も実施していきます。院内カンファレンスのような無料の会場を利用した手弁当な勉強会もあると思えます。できるだけ費用をかけずに実のある勉強をして患者さんにフィードバックしていきたいと考えています。すべてMLで広報しますので、奮ってご参加いただければ幸いです。

不慣れで至らぬ点もあるかと存じます。ご意見、ご要望がございましたら、事務局 八田 告(tsuguhatta@hotmail.com)までお寄せ頂ければ幸いです。

京都腎臓・高血圧談話会 会長 武田和夫
事務局 八田 告